

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市若松区赤岩町2番1号

団体名 日本ヒューム株式会社 九州工場

代表者 稲垣 勝敏

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)	にっぽんひゅーむかぶしがいしゃ きゅうしゅうこうじょう	
団体名	日本ヒューム株式会社 九州工場	
(ふりがな)	いながき かつとし	
代表者氏名	稲垣 勝敏	
所在地	市内事業所	北九州市若松区 赤岩町2番1号
	主たる事業所	東京都港区新橋5丁目33番11号
事業概要	コンクリート二次製品の製造	
企業・NPO法人等の別	企業	
業種（企業のみ）	製造業	
従業員数（企業のみ）	301人以上	
ホームページの有無	有	
ホームページURL	https://www.nipponhume.co.jp/	

連絡先

担当部署	九州支社 管理部
担当者	吉岡 賢太
電話番号	092-283-5155
メールアドレス	k-yoshioka@nipponhume.co.jp

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み
- ・【北九州SDGsクラブ未入会の場合】クラブ参加登録申込書（電子申請可）

SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)

企業名

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					製造現場の照明LED化の他、製造設備を更新する際には省エネ効果を主要な選定要素としており、事業活動の中で発生する二酸化炭素の抑制に努めています。コンクリートの脱炭素化にむけて環境に優しいコンクリート(e-con)の開発を進めております。また、温室効果ガス削減を図るためボイラーの設備更新に取り組んでいます。	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール9	
				9.4				ターゲット	具体的な取組
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R(リデュース、リユース、リサイクル)を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)					製造過程で生じる産業廃棄物を処理する際の業者選定には、リサイクルされるかを主要な選定基準としています。	ゴール	指標
				9.4	12.3、12.5	13.3		ゴール12	
								ターゲット	具体的な取組
3	事業に伴う調達(原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等)について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 (サプライチェーン管理)					物流の2024年問題を睨み、原材料のトラックによる長距離輸送からJRコンテナ輸送へ転換を進め、CO2排出削減及び人的負担の軽減に取り組んでいます。	ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール12	
								ターゲット	具体的な取組
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)					電子黒板付き工事写真の撮影を行えるアプリ「ViMSys Camera(ヴィムシスカメラ)」の開発に取り組んでおり、ICTを活用した既製杭工事の総合施工管理システム「Pile-ViMSys(パイルヴィムシス)※」との連動により工事現場の負担軽減による安全確保と生産性向上の両立を図っております。	ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール8	
								ターゲット	具体的な取組
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)					製品の製造過程で発生する二酸化炭素を抑制する素材を用いた製品の開発と、その普及に取り組んでいます。	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール9	
								ターゲット	具体的な取組
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 (労働環境整備)					勤怠管理システムを活用し、時間外労働時間が労使協定時間を超えないよう日常的に管理するとともに、月に2日間のノー残業デーを設定し、ワークライフバランスの向上に努めています。また、テレワーク、サテライトオフィスの運用に関する社内規定を策定、運用しており、希望する従業員は多様な働き方を選択できる体制を整えています。	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール3	
								ターゲット	具体的な取組
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備や人権教育等に取り組み、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ジェンダー平等)					女性の活躍は企業の活性化に不可欠な要素と位置づけ、あらゆる部署・部門においても性差に左右されない採用・登用を行っております。	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール5	社会(1)③
								ターゲット	具体的な取組
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ハラスメント防止)					就業規則において、会社は従業員の人格を尊重する旨を規定しております。また、セクシャルハラスメント、パワーハラスメントの防止に関する社内規定を策定、運用している他、社内および社外に通報窓口を設置しております。	ゴール	指標
				5.1、5.4	8.8			ゴール5	
								ターゲット	具体的な取組
9	疾病予防や早期発見、感染症防止などの衛生対策を講じるとともに、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					不織布マスクの常備並びに従業員への配布の他、事務所入室前の消毒液による手指の消毒を従業員に徹底してもらっており、感染症対策に努めています。	ゴール	指標
				3.4	8.8			ゴール3	
								ターゲット	具体的な取組
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					特定階層別研修以外に全従業員を対象としたe-ラーニングにより独習できる仕組みを整備しています。また、資格取得を奨励しており、資格によっては奨励金を支給し、従業員の教育意欲の向上に努めています。また、継続的にインターンシップを受け入れており、地域の高校生・大学生に対して業界・企業・職種に対する理解を深める機会を提供しています。	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール4	
								ターゲット	具体的な取組
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止、個人情報管理の適切な管理、飲酒運転の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)	北九州市入札参加資格有資格者名簿への登録					ゴール	指標
				16.1、16.3、16.5				ターゲット	具体的な取組
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV(※)などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					事業継続において後継者育成は重要なポイントであり、2023年2月に発表した「コーポレート・ガバナンス体制の強化に関するお知らせ」でも新設する拡大経営会議の役割の一つとして明記しています。また、若い世代に仕事の魅力、当社の魅力を伝える機会として、積極的にインターンシップを受け入れています。	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1		ゴール12	
								ターゲット	具体的な取組

※CSV(Creating Shared Value: 共通価値の創造)
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス(経済的な価値)を創出すること。

SDGs達成に向けた宣言書

宣言日 令和6年3月15日

団体名 日本ヒューム株式会社 九州工場

私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs達成に向けた取組方針等

わが社の経営理念にある「社会基盤の整備に参加し、豊かな人間環境づくりに貢献」していくことはSDGsと目指すところを等しくしており、従業員一人ひとりがそれぞれの役割を果たしていくことで、SDGsの達成に取り組んでまいります。

◆ SDGs達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野に「O」		SDGs達成に向けた重点的な取組	指標 (KPI) ・ 目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。		最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。
経済	○	製造過程で発生するCO2の発生を大幅に抑制し、脱炭素化に貢献できる製品(e-con)の開発に取り組んでいます。	指標 (KPI)	材料に占めるe-conの使用割合	指標
社会	○		目標値		環境 (1) ②
環境	○		(その他の場合) ()年	2023年 ゼロ ↓ 2030年 11%	具体的な取組 経済 (1) オ 社会 (2) ア
経済			指標 (KPI)		指標
社会			目標値		
環境			(その他の場合) ()年		具体的な取組
経済			指標 (KPI)		指標
社会			目標値		
環境			(その他の場合) ()年		具体的な取組

記載について

- 「SDGs達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- 必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。
(1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません)
- 指標 (KPI) は、原則として数値目標を記載してください。

地域課題への取組み

団 体 名 日本ヒューム株式会社 九州支社

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

取組名	具体的な取組内容
17 食品ロス削減サポーター	会食時の幹事からの声掛けや、職員に向けた事業所内の掲示を通じて、身近でできるSDGsとして、食品ロス削減の大切さを周知啓蒙してまいります。

記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。